



Metro  
Edmonton  
Japanese  
Community  
School

# コミュニティスクールニュース 2010年1月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL

代表者 守田幸男(会長) 9443 Ottewell Road, Edmonton AB T6B 2E1 TEL: 780-466-3278  
借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St  
URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

## <会長からのメッセージ>

明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。

詳細はまた、別途お知らせしますが、2月は、以下の様に行事が目白押しです。それぞれ皆さんの参加やご協力を仰ぐと思っておりますので、お願いします。

2/5: 保護者研修会

2/12+19: 授業参観

2/24(水): 避難訓練(ロックダウン)

昨年の日本語学校運営は、とても順調だったと思います。嬉しい限りです。

今年も、笑顔あふれる学校となる様、一丸となって盛り上げていきましょう。

後援会会長 守田幸男

## <校長からのメッセージ>

遅くなりましたが新年明けましておめでとうございます。クリスマス、お正月は皆様いかが過ごされたでしょうか。昨年は、保護者の皆様方、役員会の皆様、教師会の皆様のおかげで補習校にとって充実した一年が送ることができたと思っています。皆様本当にありがとうございました。再開したばかりの補習校だと思っておりましたが、一月ももう終わりですね。2009年度の補習校生活もあと二ヶ月です。本年も、そして三学期もよろしく願いいたします。

さてその三学期ですが、短いのにたくさんの行事が予定されています。以下に紹介いたします。

2月12、19日 授業参観日

今年度から年二回実施しております。今回はその二回目となります。スケジュールは後ほど担任方から、メールでお知らせいたします。30分ほどクラスに入ってお子様の様子を見ていただきます。

2月24日(水曜日)

エドモントン市の教師コンベンションがその週の金曜日にありますので、振り替えでこの水曜日になります。

2月24日(水曜日)

またこの日には、『ロックダウン』訓練を予定しております。詳細RS校との打ち合わせを確認の後、皆様にはメールでお知らせをいたします。

3月5日 一日体験入園、入学

新年中組、新年長組、そして新一年生が対象です。新学年を30分ほど体験してもらいます。詳細につきましては次号のニュースレターにて。

3月12日 弁論大会

小学六年生、中学二年生が参加します。体育館で行われます。詳細は、次号のニュースレターにてお知らせいたします。

3月26日 修了式

2009年度最後の補習校の日です。こちらも詳細は次号のニュースレターにてお知らせいたします。

以上、ほぼ毎週補習校では何か起こっているということになりますね。少し忙しいような感じがいたしますが、いかにも学校らしくていいですね。みなさん、この活気を楽しまれてください。特に授業参観は、日本語が不得手なお父さん、(もしくはお母さんにも)ぜひ参加してもらおうと、子ども達もこれからの補習校生活を張り切って頑張れるのではないかと考えています。短くそしてイベント盛りだくさんの三学期を充実して過ごしましょう。

さて、話は変わりますが教師会では、1月23日に、今年度二回目の一日研修会を行いました。日本から派遣され北米全体の日本語教育のアドバイザーをされている永富先生に『JFLの視点から』というテーマで、日本で十年間小学校教育にかかわってきた左館先生には『日本での国語科指導の実践』、そして、デンバーの北米研修に参加した近藤先生、石川先生には、その研修で学んだことについてセッションを行っていただきました。どれもためになるセッションで有意義な一日でした。私たち教師たちは、毎月一回二時間(で終わらないですけど)の教師会、そして、今年度から役員会の後援を得て年二回の研修日を設けなんとか補習校のニーズに合う教育を提供したいと勉強しています。今、エドモントン補習校では普段の授業の中で、効果的だと思われる三つの学習指導の試みに独自に取り組んでいるのをご存知でしょうか。

1. 漢字の達人…二年生以上を対象、2005年4月より実施

- ・ 漢字にふれる機会を増やし、楽しく、意欲的に漢字の学習をする。
- ・ 教科書だけでは触れられない漢字の読みの学習を進める。

2. 作文の達人…特に中学年を対象、2008年から実施

- ・ 一人の先生の試みを教師会でシェアし、全体的に取り組むことを決める。
- ・ 付箋と空白チャートを使って作文を組み立てていく。

そして今年度より

### 3. 辞書の達人

・一人の先生が立命館小学校の校長の付箋を使った辞書活用法の研修（京都）に参加。

それをもとにこちらで研修を開き今年から実施。

・辞書を使って調べる度に付箋を貼っていく。

以上の試みはさらなる学習意欲を高め、そしてそれが子どもたちの学習成果にも良い影響を与えていると思っておりますし、実際その傾向がみられているようです。このほかにも、プロジェクターなどを使った視聴覚にも訴えるクラス運営、ステーションを配置したクラス運営など各クラスでそれぞれ工夫をして国語の授業に臨んでいます。校長として、補習校の授業は毎年進化していると自信を持っています。

このエドモントン補習校には様々なニーズを持った生徒達もしくは保護者の方々が集まっています。帰国しても日本の学校にしっかりとついていける教育をすることが目的だったはずの補習校は、時を経て国際化をめざすという世の中から、国際化が普通になってしまった（特に海外に住んでいる私たちからすると）今では、その目的が意味をなさなくなっているのを感じていらっしゃる方が大勢いるのも事実です。実際、世界中多くの補習校は帰国組と永住組の割合が年々拮抗、逆転、もしくは大逆転していつている現状にどう教育に当たっていくのか同じように悩んでいます。継承語としてのむしろ日本語教育的な国語教育なのか、帰国のための国語教育なのか。校長になって一年経ちましたが、私は、この二つを両立させることは可能だと信じています。つまり、日本でおこなわれている国語教育としての水準を保ちながらも、カナダでこのまま成人していくかもしれない生徒の大切な継承言語教育の場であり続けるということが、言い方を変えれば教科書を題材の中心とし国語教育としての水準を保ちながらも、継承語教育としても最大限配慮していくということが、難しいことかもしれませんが、案外そうでもないかも知れません。エドモントン補習校は実は、ここまでその流れで頑張っていると思います。とにかく、それができるものだと信じ、それを念頭に私自身は、教師会の中心にあり続けようと思っています。保護者の皆様、お家ではしっかり宿題に付き合ってあげてください。日本語の勉強を続けたいと思えるような環境作りに励んであげてください。そして、ある程度までくるともうこの子についてはいけないからやめさせようと思われる方が出てくるかも知れません。その時はぜひ、またあと一年同じ学年で頑張らせようと思われてください。

保護者の皆様のご協力があって初めて補習校の教育は充実したものになります。冒頭で申しましたように、保護者の皆様のご協力に教師一同、常々大変感謝しております。これからもこれまで同様、ご理解ご協力を

ぜひよろしくお願いいたします。我々教師一同も、これまで同様、いや以上に目の前の生徒の授業の充実のみならず、将来にわたって通用する学習指導法、授業計画、を勉強し続けることに力を尽くしたいと思っております。そして、役員会の皆様、充実した補習校の教育提供のためにいろいろお力沿いをいただき本当に感謝しております。補習校は、ますます大きくなっていくことが予想されます。新しい年2010年も、役員会、教師会、そして保護者の皆様が協力し合ってさらにこの補習校を輝かせていきましょう！

なんとも長い校長のあいさつとなりました。最後にもう一つございました。エドモントン補習校は、生徒数、クラス数ともに年々増加しております。先生をしてみたいなと興味がある方、もしくはそのような方をご存じの方は、ぜひ、副校長の長倉先生、役員会の守田会長までお知らせください。よろしくお願いいたします。履歴書提出、面接を経るといふことにはなりますが、ぜひぜひ私達教師会の一員となつて、カナダという国で日本の言語、文化を国語の教科書を使って一生懸命勉強そして継承していこうとする子どもたちのお手伝いを一緒にしませんか？

校長 坂口 宗（はじめ）



### <保護者便り>

伊藤 由美さん、金達也さん、大場恵子さんから

みなさん、こんにちは。いつも日本語学校でお世話になっている、伊藤です。今日は、私たちの自己紹介と簡単な挨拶をさせていただきます。

我が家は五人家族で、三人の子供たちがいて現在、この日本語学校でお世話になり、学んでおります。長男が中学二年、長女が小学六年、二男は三年生です。我が家にとって、金曜日は日本語学校の日、夕食はカレーライスの日！といつものお決まりパターンが続いて、早、11年の月日が経っています。振り返れば、いろいろな事を通して、日本語学校との繋がりが、今の私たちの生活の一部となっているのだと、改めて思われています。当時、子供たちが、ブレイスクールで折り紙を折ったり、クラフトで作った可愛い物や先生が読んでくださる紙芝居など、どれもが楽しそうに過ごしていた時の事を鮮明に、しかもついこの間のように思い出してしまう私ですが、子供たちにとっては、どうなのでしょう。

10年以上、過ごしてきた月日と時間は親である私たち以上に、日本語学校での体験が子供たちの心と体を成長させ、ひとつ、ひとつの思い出を刻み込んでいる様な気がしています。カナダ人日系4世である夫も、

子供の頃は、このエドモントン日本語学校に通いました。やはり、時代が繰り返す如く、私たちの子供たちも縁があって、こうして現在に至っております。長いようで、短かった様な現時点ではありますが、この日本語学校には、本当に親子二代でお世話になっており、心より感謝しています。

伊藤 由美

金達也と申します。長男が中2で、長女が小4で、次女が小2で、それぞれお世話になっております。家内は小3の担任を務めさせて頂いています。

1998年に、アルバータ大学に実験外科研究のために来たのが、エドモントン滞在の始まりです。その後、臨床関係の仕事に従事することになり、現在では脳死移植のため、ほぼ毎日24時間オンコールで備えています。

本校ではすでに11年もお世話になっており、本校の存在が日常生活の一部になっています。まだまだ、これからも皆さんのお世話になると思いますが、よろしく願いいたします。

金達也

補習校に望むもの

この補習校で中学を卒業したら、「日本語で普通に大人の会話ができる」ようになっていて、少なくとも、そういうレベルの学校であり続けてほしいです。

大場恵子

### <石川比奈子先生からのご挨拶>

はじめまして。自己紹介がかなり遅くなってしまったのですが、昨年9月より、6年生の担任しております石川比奈子と申します。日本では英会話講師をしております。現在はアルバータ大学で教育学を学んでいます。補習校の第一印象は、下は年中さんから、上は中学2年生までといろいろな生徒さんとたくさんのお保護者の方がいらっしゃり、とてもにぎやかな学校だと思いました。そして、とてもうれしかったのは、最初に学校へ行った日のことでした。見知らぬ私がどなたに挨拶しても「こんばんわ」と返してくれて、とても親しみやすさを感じました。勝手に歓迎されている！！と勘違いをしたほど、生徒さんや保護者の方々はフレンドリーで、本当にうれしかったです。そんな挨拶は、今も変わらず、学校へ行ってみなさんと挨拶を交わすと、なんだかとても元気になります。ですから、学校のどこかで私を見かけたら、是非「こんばんわ」と一言かけてくださいね。これからも、よろしく願いいたします。

### <田中亜美先生からのご挨拶>

補習校のみなさんこんにちは！ 昨年4月から幼稚科年長組の担任をさせて頂いております田中亜美です。

ついこの間進級式を迎え、緊張した顔の子供たちと始めて対面したと思っていたら、あっという間に夏休み、そして冬休みがやってきて、いつの間にかもう3学期も半ばです。時の流れの速さにも驚かされますが、この短い期間の中でいかに子供たちが成長したか、ということにも毎週様々な場面で気づかされ、その度に感動させられます。

クラスで一緒にお勉強をした「かな」や新しい言葉を覚えられただけではなく、「何をどこにしまうのか一人でわかるようになったね」、「どの時間に何をを使うのか、言われなくても自分で考えて出せるようになったね」、「自分のことが終わったら、周りのお友達も助けてあげられるようになったね」、「プリントをもらったら、後ろのお友達に配ってあげられるようになったね」、「何て言うの？と言われなくても、ありがとう、って言えるようになったね」、「はさみで色々な線が上手に切れるようになったね」、「先生に言われなくても、自分たちでルールを確認できるようになったね」、「お友達とけんかをして、注意されることがとっても少なくなったね」、などなど、などなど・・・。大人から見れば些細な、何でもないことかもしれませんが、こうした一つ一つのことを今では何気なくこなしている子供たちを今見ていると、言葉では言い表せないような、不思議で嬉しい気持ちにさせられます。

大好きな年長組の子供たちと時間を過ごせるのもあと少し。一年目の今年は失敗も多く、反省し学んだこともたくさんありましたが、父母の皆様や周りの先生方、そして子供たちに支えられてここまで来られました。いい思い出を三学期いっぱい作っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### <第2回保護者研修会のお知らせ>

2月5日(金) 6時よりスタッフルームにて保護者研修会を行います。今回は教師会でもセミナーをされた、国際交流基金より日本語教育アドバイザーとしてアルバータ州に出向中の永富あゆみ先生をお招きしてセミナーをしていただきます。この機会にベテランの永富先生に普段心にある素朴な質問等を聞いてみましょう。たくさんのお保護者の方々の参加をお待ちしております。

役員会



### <作品集の表紙絵募集>

今年も年度末の作品集作成の時期となりました。今年も昨年同様表紙絵を募集します。生徒の皆さん、楽しそうな学校生活風景、未来に向けてのメッセージなど、きっと生徒一人一人いろんなアイデアがあろうかと思えます。決まりとして、標準サイズのコピー用紙を使用してください。白黒でお願いします。2月19日締め切りです。皆の元気ある絵をどしどし応募してください。応募作品は、担任の先生またはジャクソンまで。

役員会

### <カジノコーディネーター募集>

秋のカジノボフアンドレイジングを取り仕切るコーディネーターを募集しています。英語が出来る方。貴方の旦那様や奥様にも聞いてみてください。是非、守田まで応募下さい。

役員会

### <図書よりお知らせ>

年度末に向けて本、テープの整理をします。貸し出し期間2週間をすぎたものをお持ちでないか各家庭で確認して、返却してください。尚、2週間で読み終わらなかった本は、期間延長を受け付けますので持参してください。

### 寄贈:

山本さん/子供用ビデオテープ、大人用DVD 多数  
ハンラハンさん/子供用DVD 多数

クインター

### <来年度の図書係り募集>

来年度4月より図書係を勤めてくださる方を募集しています。2月の終わりから3月にかけて約一ヶ月間、クインターさんから図書の仕事について学んでいただいた後、4月からの任務となります。興味のある方はクインターさんまでお知らせください。

役員会

### <ボランティア募集>

会則と校則の整理、ストラテジックプランニング、奨学金委員会に協力して下さるボランティアの方を募集しています。詳細は後日発表します。興味のある方はブルースさんまでお知らせください。

[bruce@interbaun.com](mailto:bruce@interbaun.com)

### <2月、3月の当番/ Parent Duty shifts Feb & Mar>

2月5日 伊藤、ライバック  
2月12日 小林(麗)、黄  
2月19日 滝田、森(Hamilton)  
2月24日(水) 渡辺、堀

3月5日 根元、ハンラハン(Hanrahan)  
3月12日 星、岡田  
3月19日 ヴァン、ウォン(黒木)  
3月26日 王、キャンベル

毎週金曜日の日本語学校は、父母の皆様のお陰で運営されています。ありがとうございます。これからもスクールニュースをきちんと読み、自分の当番日を確認してください。当番に当たっている方がうっかり忘れるような事があれば、学校運営に支障をきたし、他の方にも迷惑をかける事になります。ご協力お願いします。当番表の作成は事務のダンウオールドが当たっていますので、質問や疑問、そして都合の良い当番日があれば調整しますのでお知らせください。  
ダンウオールド(437-3457)

### <3月の行事のお知らせ>

2月のさまざまな行事に引き続き、3月も多くの行事があります。今からカレンダーに印をつけておきましょう。

### 3月5日 ボランティアデー

一年を通し多くの父兄の方々からご協力をいただきました。ありがとうございます。スタッフルームにてささやかではありますが、感謝の茶話会を行おうと思っております。皆さんご参加ください。

### 3月12日 弁論大会

今年は6年生と中学生が行います。その学年のご父兄の方はもちろんのこと、そうでない父兄の方々にも是非聞いていただきたいと思えます。

### 3月26日 終了式

一年の頑張りを表彰する表彰式も兼ねております。

役員会

### <「おめでとう！」コーナーへの投稿のお願い>



「おめでとう！コーナー」は、補習校生徒ならびに会員の学校外での活躍や業績を紹介し、称えていくコーナーです。コンテストで入賞した、所属しているスポーツチームで著しい活躍を遂げた、などなど、いいニュースを募集しています。自薦・他薦どちらでも結構ですので、フランキウイズまでお知らせ下さい。

### <ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当のフランキウイズ(yfrankiewicz@yahoo.com)までご連絡下さい。投稿の締め切りは第3金曜日、発行は第4週です。

スクールニュース校正 アデイソン千恵子  
編集 フランキウイズ